

事業者向け

放課後等デイサービスなないろ自己評価結果

令和2年1月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室内は広い面積が確保されています。活動スペースと食事のスペース、休憩スペースに分けて過ごしやすいように工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリーとなっており、安全に備品を配置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年度ごとに目標と計画を立て、職員全員で振り返りを行うことで次年度への改善につなげています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			いただいた意見を反映させ業務の改善をしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部での研修を受講した後は他の職員に伝達しています。また、事業所内で計画をして必要な研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家庭、関係機関との情報交換や発達の状況からアセスメントを行い、職員間で確認をして計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個別支援実施書と発達の状態の記録を作成することで、状況把握をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間の話し合いの基、年間の活動プログラムを決め、立案をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日の活動は、その日の活動担当が工夫をして行っています。その他に職員同士で意見を出し合う場を設け、季節に合わせた行事やレクリエーションを考えています。

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動内容や支援内容を状況に合わせて設定し、実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家庭からの希望や一人一人に合わせた課題に添って個別活動を行っています。また、他のお子さんや地域の方々との関わりを持てるように集団活動を組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回打ち合わせ時に当日の送迎と活動スケジュール、役割分担等必要事項をボードに掲示し、口頭と併せて確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			夕方の申し送り時に周知事項や支援内容の振り返りを行っています。その場にはいない職員には後日伝達をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			伝達事項や体調・気分の状態、支援の内容等の記録を徹底して行っています。記録から支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画に対して6カ月以内にモニタリングを行い支援内容の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの内容に沿い、多種の活動を工夫して組み合わせさせて行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議のあるときは、その児の状況を他職員からも確認した上で児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の年間計画書を確認し、また、送迎時や普段と違う状況の発生時は学校とご家庭と連絡をとり合いながら行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医からの医療的指示書を提出していただき、日常の処置と緊急時の対応を確認しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援事業所を通して情報をいただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			書面による記録と口頭での伝達をし、スムーズな移行ができるよう情報提供を行いました。

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連携会議等に参加し、情報の収集や研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		時間的・環境的に難しく、希望が少ないため事業所外の子どもと一緒に活動する機会は今のところありません。高校生のボランティアとの交流、施設内の利用者家族や迎えに一緒に来た兄弟姉妹たちとの関わりがあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の障害者自立支援協議会や重症心身障害児者連携協議会の会合や研修があるときはできる限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時や連絡帳を利用して、情報交換をしています。その際に、発達の状況や課題についても共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約書と重要事項説明書を提示しながら説明をさせていただいています。不明な点はその都度お答えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	子育てや発達に関する悩みや相談を伺い、保護者様の負担が少しでも軽くなるように対応しています。適切な助言と支援が行えるよう精進していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	年に2回程行事に合わせて保護者様同士が交流できるような場を自由参加で設定しました。各ご家庭の都合があるため、保護者会等は開催していません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現在の所はありませんが、苦情があった際の対応をマニュアル化にして体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1度のお便りにて活動内容を伝えています。また、令和2年度4月よりホームページでも発信していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人ファイルはキャビネットにしまい施錠しています。職員に対して守秘義務について意識を合わせています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人一人の意思表示を大切に、個々に合った伝達方法をとっています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			法人の納涼祭や文化祭があるときは地域の方々を招いています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員のマニュアルを整備し、定期的に見直しをしています。保護者様には緊急時対応マニュアルを配布し、年度ごとに見直しをします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度の避難訓練と、年に2度電話での緊急連絡訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に3回、虐待防止に関するセルフチェックを行っています。また、法人内や外部で研修に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			車椅子上でベルト装着は、安定した座位を保持するためのものと位置づけし、個別支援計画書にその旨を記載すると共に毎月内容を確認しています。また、長時間の同一姿勢を防ぐためにマット上で体を休める時間を設けています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			診断書・医療的指示書で確認をし、また保護者様の申し出により、管理栄養士と連携をして対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成し、防止策を検討して周知しています。